

日野原重明記念『新老人の会』兵庫

第4号

令和3年4月14日
発行

日野原先生を偲んで



代表
富永純男

17年7月18日日野原先生がご自宅で逝去されてやがて4年になります。

今一度日野原先生のことを振り返り、その偉大さをあらためて強く感じています。先生は、お父さんが神戸栄光教会に牧師として赴任され、そこで育てられ、神戸市立諏訪山小学校、関西学院中等部を経て、京都の第三高等学校から京都大学医学部に進まれました。大学では第三内科（循環器内科）で学ばれ、卒業後聖路加国際病院に勤務されました。

59歳の時に「よど号ハイジャック事件」で人身拘束された命をどのように使うのかを考えられました。そして、残りの人生を他者のために生きることを選びました。62歳の時に、ライフプラン



日野原重明先生のフォーラム(兵庫)

2002.02.05	老いに輝きを終わりよければすべてよし	県民会館ホール	発会式
2003.02.18	75歳から創める人生	神戸国際会館	
2004.07.06	輝く新老人をめざして	姫路文化センター	
2005.08.21	人生の果実	神戸松方ホール	
2006.08.31	山と海から命を受けて人生を共に歩もう	県民会館ホール	
2006.11.15	次世代のモデルを目指して	姫路文化ホール	
2007.05.09	若い世代のモデルとなる新老人の生き方	芦屋ルナホール	
2008.12.20	生きがいのある人生を求めて	神戸西山会館	
2009.04.18	朽ちない命を求めて	姫路文化ホール	10.1
19	朽ちない命を求めて	看護協会ホール	はりま独立
2010.01.09	白寿を祝う・新年会	ポートピアホテル	
06.26	生きがいを求めて	姫路文化ホール	
2011.03.01	クレッシェンドに生きる	関西学院	
08.25	逆風の中で勇気ある生き方	姫路文化ホール	
12.13	逆風の中で勇気ある生き方	ラッセホール	
2012.09.12	あなたの運命はあなたがデザインできる	うはらホール	
2014.02.28	平和をめざした生き方の選択	西宮市民会館	
12.06	いのちを守り平和を築く	ポートピアホテル	
2016.06.07	いのちの使い方	神戸文化ホール	

ングセンターを設立され、88歳の時に「新老人の会」を作られ全国組織として各地に支部ができました。先生の生き方、考え方に賛同し多くの高齢者の会員が育っていきま

た。トセラフとなりました。人は「創める」ことを忘れなければいつまでも若くあるとし、この命を使って社会にお返しをしようと思われま

われました。日野原先生は、「国民医」であり、医師としての生き方から私達高齢者にとって将来への現実的な支えとなり、その行動が社会に明るさと活気をもたらしてくれました。その生き方が後の文化功労章、文化勲章の授与にもつながったのだと思っています。天台宗の教祖、最澄は「一隅を照らす」誰かのためになる「忘己利他」自分のことは少し横に置いて他人のことを考え

る、それが出来るのが余裕のある人間であると述べていますが、日野原先生はその典型だと思っています。日野原先生は、生まれ育った神戸を愛しておられました。その先生の考えを受け継ぎ、手本として私達「新老人の会」兵庫の会員がこれからも成長していきたく願っております。一日も早くコロナの異常状態から解放され、皆様と元気に会合する機会ができることを願っております。

会員の皆さんへ

昨年初来、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、わが国にもこれが波及し、大きな社会問題となっております。

「新老人の会」兵庫が新たに発足したのは、その半年前の2019年6月18日でした。

そして一年経過した昨年夏には、ご承知のとおり全国的な第2次感染拡大で世間的に自粛要請が強化され、総会もやむなく書面による総会となりました。

その後も感染拡大傾向が続き、会員交流会の開催や月々のサークル活動も中止や延期という事態に追い込まれました。特に、昨年末から年初にかけて大都市中止に緊急事態宣言が出され、ほとんどの活動が停止した状態となっている現状です。

そこでこの3月10日に「世話人会」を開催し、今後の会の活動について話し合いを持ちました。

まだ、十分な結論を得たわけではありませんが、今の状況をふまえ以下のような方向付けを行いました。

～会の活動全般について～

令和2年度の活動は、総会、交流会など組織全体で取り組む行事がほとんど中止・延期となっております。また、少人数でのサークル活動が継続しておりましたが、それも年末中心に中止・延期せざるを得なくなりました。

しかし、緊急事態宣言が終了し、事態終息の兆しが出てきましたら会員の皆さんが集まって交流し、親睦を深める交

流会を開催するべく準備をしてまいりましたが、事態はむしろ厳しい状態になってきており、年度内は無理となりませんでした。

そのため、折角皆さんから活動のために頂いた年会費がほとんど手付かずのままとなっているのが現状です。

勿論コロナが下火か、収まって活動できる状況になれば、万全の対策を講じてでも再開し積極的に会合を持って親睦、交流を図りたいと思いますし、一日も早いその日が来ることを願っています。

～新年度会員総会について～

厳しい現状を考えますと、自粛ムードは今後も継続していくと思っておりますので新年度の会員総会も現在のところ日時・場所等は確定いたしておりませんが、できれば6月中旬以降に開催を予定したいと思っております。しかし、予断を許さない状況が続いていますので追ってご連絡させていただきますこといたします。

その新年度総会にてご承認いただくのが筋ではありますが、世話人会の合意として新年度（令和3年）の年会費は徴収をしないことにしたいと考えています。年度末決算予想段階では、年間の予算相当額の残高（次期繰越金）を確保できるものと思っています。

いずれにしましても、今後の動向を見ながら対処していきたいと考えています。

皆様には、実施の詳細が決まりましたらお知らせいたします

養生塾の活動

2020年9月は、新型コロナウイルスの感染拡大で休講となりました。

10月21日講師 雨宮幸三先生

この度は、歯科医師でありメンバでもある雨宮先生から「歯の話 オーラルフレイル」と題してお話をいただきました。

「老化予防は口から」と云われていますが、最近口腔の健康が重大な病の予防につながると云われています。歯の基本的なお話から始まってオーラルフレイルという観点から健康全体に及ぼす影響につき幅広くお話を頂きました。

11月18日は、富永代表から高齢者にとって極めて身近な話題「ボケない生活」という題



でお話を頂きました。前頭葉を働かすように、旅行、日記、新聞を読む、音楽を楽しむ等々の他女性の方（男も？）であれば、おしゃれしたり、料理したりするのがよろしいと。

12月16日は、「免疫について」自然免疫は年齢とともに低下するので、食事、規則正しい生活、運動、ストレス、禁煙、禁酒、肥満、糖尿、高血圧といった項目に気をつけようという話で講話後皆さんで経験をまじえて話し合いました。

開催した会は、20人から25人と盛況な会でしたが、皆さん各自の対策と世話役の皆さんの行き届いた安全対策で安心して勉強できました。

毎回多数の皆さんが参加頂き、大盛況を続けていますが、現在新型コロナウイルスの感染拡大で出された緊急事態宣言の関係もあり今年に入って1月、2月と休講いたしました。

マネジャー 谷 ひろみ

〈サークル活動〉

風の会

「コロナ禍の中、 リレーエッセイを楽しむ。」

2月7日に終わるはずだった緊急事態宣言が更に延長されて、禁足期間が益々長引いてしまった。

かかる事態を想定して、エッセイサークルでは芝野先生の発案で、リレーエッセイをやることになった。

何をやるのかというと、「コロナ禍の中、どのような過ごし方をしているのか。」という

テーマで短い文章を書いてもらい、これをまとめて一冊の小冊子を作る。これをリレーのようにして読み終わると次に指定された人に送って、つなぐしていくのである。

大事なことは、この際に自分以外の人の文章について感じたことを、全員分書いて添付しなければならぬというルールが



義務付けられているのである。

こうして全員にリレーされて最後にまた芝野先生のところに戻ってくる。という段取りなのである。

これを次の集まりに全貌を明らかにして盛り上がろうという試みなのである。

「コロナ明けの集いが楽しみである。」

マネジャー 吉田 耕一

エーデルワイス

新型コロナウイルスに負けないで！

昨年1月に新型コロナウイルスが、日本に上陸し、早くも1年余過ぎました。この間、いろいろな団体などが、休会や行事中止に追い込まれ随分苦労されたことでしょう。

わが「エーデルワイス」も、昨年3～6月(6回)、8～9月(3回)、12月、本年2月(6回)と、計15

回のレッスンを休まざるを得ず、いろいろな行事も中止や延期に追い込まれました。特に、2012年から続けてきた、大阪(マーガレット)、はりま(しらさぎコーラス)との交流会は、昨年4月で9

回目を迎え、私たちの主催で、会場も予約しましたが、延期せざるを得ませんでした。

その後、「しらさぎ」の伊藤マネジャーが他界され、しらさぎコー

ラスが解散、10月に延期した会もできなくなりました。

この1年間にHさんとの悲しい別れや体調不良で退団される方、遠方に転居される方もあり、毎回のレッスン参加者は、20名に達しないことも多いです。

しかし、私たちは、各々「Stay Home」を強いられ、逼塞感も強まる中、LINEのグループトークを活用、また、「ニュース」を毎月欠かさず会員

に届けることで、会員同士の繋がりを維持することに努めてきました。特にニュースは、SNSを利用できない方には直接郵送され、多くの方に親近感を与えました。

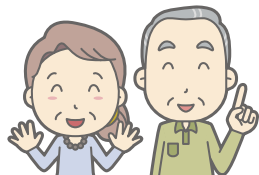
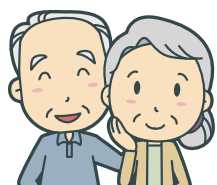
4月23日には、芦屋市のルナホール(芦屋市民会館 多目的

室で、「マーガレット」の方々を迎え、昨年から延び延びになっていた交流会を実施する予定です。

お互い練習不足でレパートリーは限られますが、それを「みんなが歌おう」のコーナーで、替え歌も入れて楽しいものにするつもりです。また、運動不足解消も狙って、「振り込め詐欺撲滅音頭」を一緒に踊る計画です。

この曲は、山川先生が、ずっと交流を続けておられる奈良県川上村のお巡りさんがつくられたものです。もし、昨年の交流会が予定通り実施できていたら、これをテーマにした寸劇を上演する予定で、一昨年暮れには川上村まで踊りを習いに行きました。今回は、「マーガレット」の方にも参加して頂き、楽しい時間を過ごし、両サークルが希望をもってコロナ禍を乗り越えることができれば、と願っています。

マネジャー 牛尾 宏



どんぐりくらぶ



昨年10月15日から20日までの6日間、写真展を開催しました。今回は、県の施設（ギャラリー）ではなくメンバーの一人である井上謙吉さんの経営するギャラリー「Art&Craft」で空間の壁を活用する形で開催しました。

JR神戸駅、阪神・阪急の高速神戸駅から近くで交通の便はよいところでした。

出展したメンバーは7人と少なくりましたが、身近な「花、花のある風景」や自由作品を頑張って撮影し、展示しました。会員の皆さんを中心に数十人の皆さんに鑑賞して頂きました。ありがとうございました。

マネージャー 中永晋一郎

20周年が来年に

来年令和4年2月に、この兵庫地区での「新老人の会」の活動が始まって20年を迎えることとなります。

故日野原重明先生が神戸の地で発足記念講演を行ったのが、2002年2月5日のことでした。この講演が契機となって「阪神支部」(のちに兵庫支部、はりま支部と)としてスタートしたので。この20周年を契機に過去の歩みを振り返ってみるのも今後の活動の糧になるのではと考えています。

そこで、会員の皆さんに「この新老人の会は、あなたにとって?」「ご入会の動機?」「私の新老人活動」などでご寄稿いただいで、記念誌など作ってはと考えております。下記に要領をご案内させて頂いております。

よろしくご協力をお願いします。

いすれにしまして、も、これからの感染状況がどのようになるのかによって、今

この度は、緊急の事態に遭遇し意思疎通が十分図れなかった点をお詫びし、これから皆さんの声



後の活動計画の進め方が変わってまいりますが、皆さんの声を頂戴しながら世話人の中で代表を含め議論し、活動してまいりたいと思います。

皆さんの投稿を お待ちしております

先に「会員の皆さんへ」でご案内しました来年初めの「20周年」を記念して、会員の皆さんの日野原重明先生との出会いや思い出を中心として下記のようなテーマでご寄稿頂き、小誌にまとめたいと思っております。皆さんのご協力をお願いします。

1. 日野原先生との思い出
 2. 「新老人の会」は、あなたにとって?
 3. ご入会の動機、契機
 4. 私の新老人活動
 5. その他新老人運動に関係するもの(ボランティア活動など)
- 【字数】 4000字以内で
【事務局まで】 日野原重明記念「新老人の会」兵庫 事務局(真星病院内)
〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字古古谷12-3
☎(078) 582-0111
FAX:(078) 583-8908
【送付方法】 FAX・メール・八ガキで
【期限】 2021.9.30まで
をお願いします。

編集後記

(まもなく20年となります)

「新老人」に込めた意味

この題は、2000年9月に発足した「新老人の会」について、日野原先生が連載した「私の証あるがまま行く」に書かれたものです。

その中で、なぜ75歳以上を「新老人」と名づけたかについて、高齢者の増加と全人口に占める割合の増加の他、出生率の低下が始まっていることで医療費のみでなく社会的な財政負担増やひいては国家財政の崩壊を心配され、「なお生産的に生きることを続けてほしい」という思いを込めて書かれています。

「老」とは、負のイメージ(老醜、老廃物など)ではなく、「長老」「老師」など尊敬される意味として「新老人」という言葉を使ったのであると。従って「リタイアする年齢」ではなく「なお生産的に生きることを続けてほしい」という思いを込めていますとおっしゃっています。そして、会員には次のスローガンを大切にしたいと願っていると書かれています。

- その3つは、ご存じのスローガンです。
- ① 愛し愛すること
 - ② 創めること
 - ③ 耐えること

日野原先生が亡くなられて4年近くなりますが、この新型コロナウイルスの危機を前に先生は3つのスローガンを心を込めて実践していくよう私たちに訴えておられるように思います。この難局にあたり皆さんとともにあらためて再確認をしていきましょ。

発行・お問い合わせ

日野原重明記念「新老人の会」兵庫 事務局 真星病院 〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字古古谷 12-3 TEL 078-582-0111 FAX 078-581-8464